

MAT800/810 における入力周波数に対応したレベル補正

2009 MAY 12 Micronix

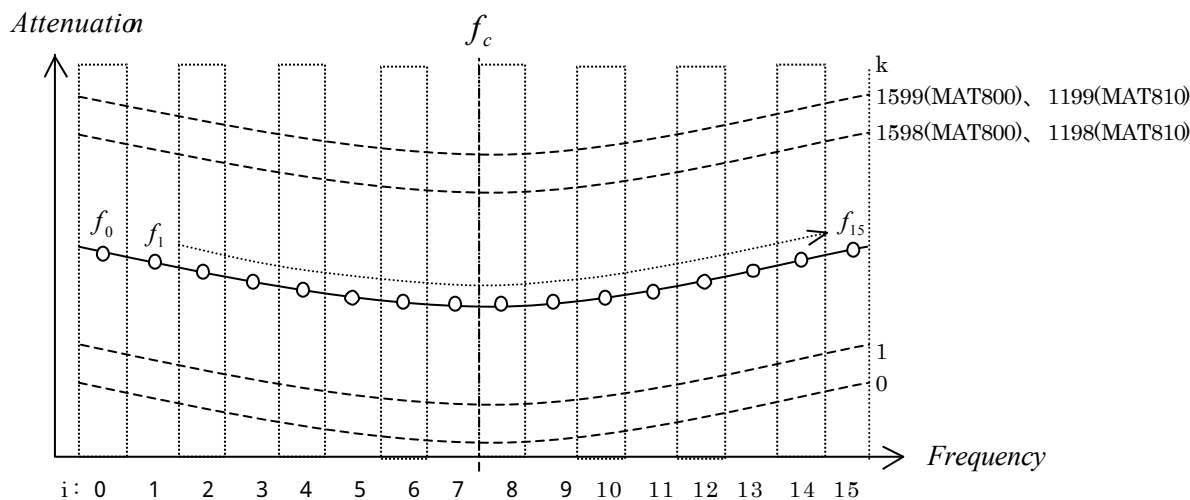


図.1 16 の周波数帯域に対応した MAT800/810 の減衰量

MAT800/810 は図 1 のように、いくらかの周波数特性を持っております。周波数により減衰量が変わり、全体として緩やかなカーブを描きます。

そのため、図の " f_0 " から " f_{15} " に対応した 16 の周波数レンジにおいて、MAT800 は 1600 ステップ、MAT810 は 1200 ステップ全ての減衰量を SG とパワーメータを用いてレベル校正を行っております。

MAT800 は 0dB から 80dB の減衰量を 0.05dB きざみで 1600 ステップの減衰量の設定が、MAT810 は 0dB から 60dB の減衰量を 0.05dB きざみで 1200 ステップの減衰量の設定が可能です。

また、ユーザが周波数 " f_i " あるいはその周辺で MAT800/810 を使用する場合、パネルキーとデータノブにより周波数レンジ " f_i " を選択する事により周波数 " f_i " に対応した補正が行われます。

上記の補正により、MAT800/810 は全周波数レンジで減衰量を保証する事を実現いたしております。